

30ALPHARD/30VELLFIRE
(GGH/AGH/AYH)

BRAKE KIT 4POT 356

Set up Guide (1/2)

EXCLUSIVE
ZEUS

図 1

図 1-b

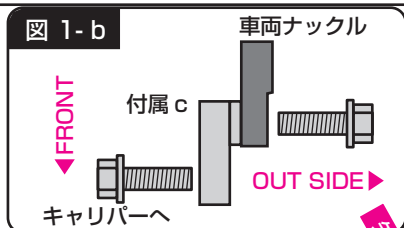


図 1-a

厚みの有る側をナックル側へ

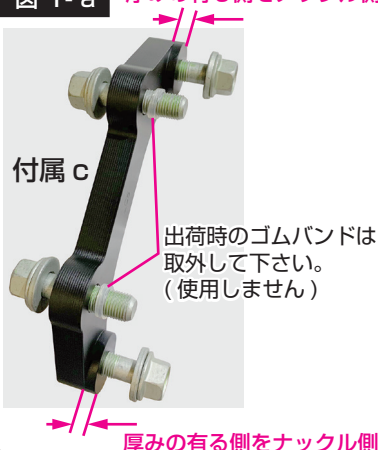
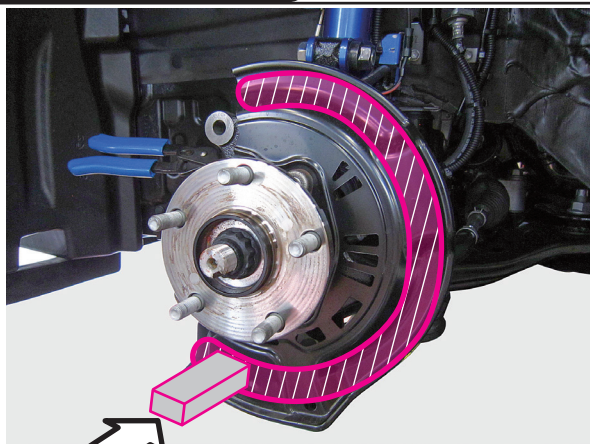


図 2

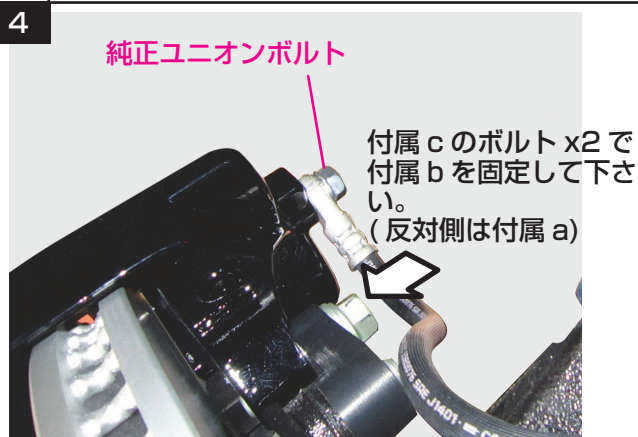


ブレーキローターが上図  部のバックプレートに干渉しない様に付属iを使用しハンマーなどで、バックプレートを車両内側(矢印方向)へ押込んで干渉しない様にして下さい。

図 3



図 4



この度は、M'z SPEED 製品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本製品を安全に使用して頂く為に、自動車用品専門店にて正しく取付を行って下さい。
取付後、本書を必ずお客様へお渡し下さい。

品 名	数 量
付 属 部 品 一 覧	
a: 4 POT キャリパー (R)	1
b: 4 POT キャリパー (L)	1
c: キャリパーブラケット	1SET
d: ブレーキローター (φ356mm)	1SET
e: ブレーキパッド (04466-11010-79)	1SET
f: シムキット (04946-11010)	1SET
g: フィッティングキット (04948-11010)	1SET
h: ガスケット (47389-50020)	2
i: 木片	1
付属e、f、g、h () 内はトヨタ純正品番です。	

装着手順

1. 指定の整備書に従い、純正キャリパー、キャリパーブラケット、ブレーキディスクを取外して下さい。
2. 取説画像は、助手席側で説明させて頂きます。運転席側も同様に作業を行って下さい。
3. 図 1、図 1-a、図 1-b を参考に付属 c の取付向きに注意して車両ナックルへ取付けて下さい。
4. 図 2 を参考に、ブレーキローターが  部のバックプレートに干渉しない様に付属 i を使用しハンマーなどで、バックプレートを車両内側(矢印方向)へ押込んで干渉しない様にして下さい。
5. 図 3 の様に、純正ブレーキホースの先端をカットし付属 h を挟んで下さい。
6. 付属 d を綺麗に脱脂洗浄し車両へ取付、付属 c のボルトを使用して付属 b を取付固定して下さい。
(運転席側は付属 a を取付けて下さい)
7. 純正ユニオンボルトを使用して、ブレーキホースをキャリパーへ固定して下さい。(ブレーキホースに無理が掛からない位置で固定して下さい)

M'z SPEED

エムズスピード

〒578-0966 大阪府東大阪市三島 3-8-7 TEL.06-6748-2603 FAX.06-6748-2605

図 5

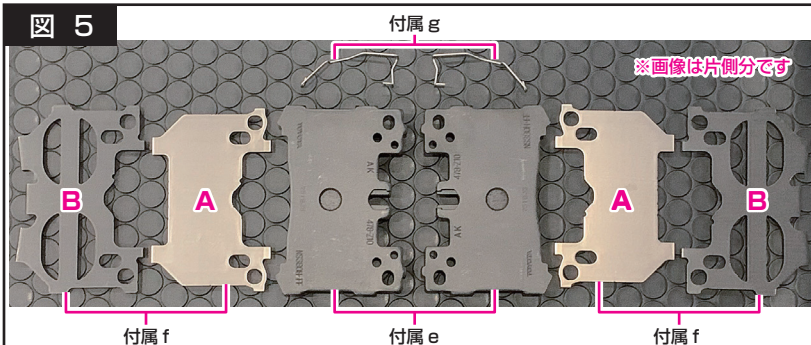
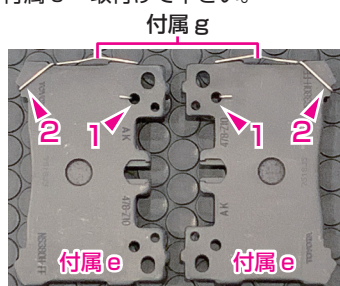
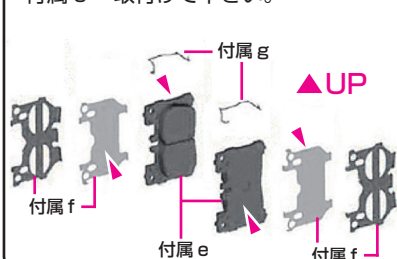
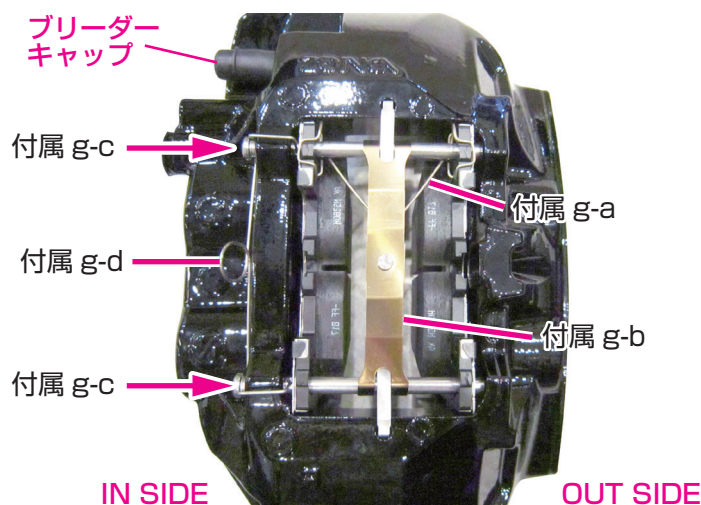
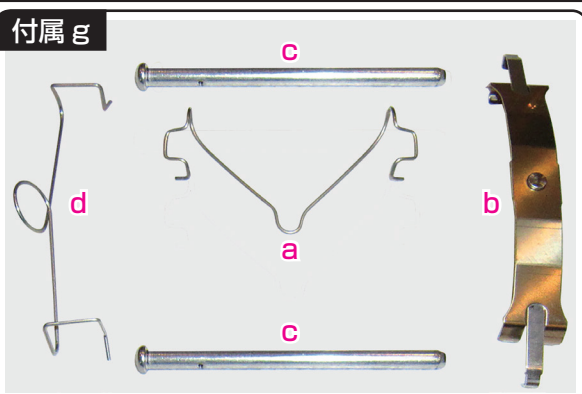
図 5-a 付属 g より、対象部品を
取出し下図を参考に、1、2の順で
付属 e へ取付けて下さい。図 5-b 付属 f に同梱のグリスを
付属 e と付属 f との当たり面のみ (下
図矢印面) 塗布し下図の様に付属 f を
付属 e へ取付けて下さい。

図 6



※画像は助手席側です。

この度は、M'z SPEED 製品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本製品を安全に使用して頂く為に、自動車用品専門店にて正しく取付を行って下さい。
取付後、本書を必ずお客様へお渡し下さい。

装着手順

- 図5にある、付属 e、f、g より該当の部品をご用意下さい。
- 図 5-a を参考に、付属 g の対象部品を 1、2 の順で付属 e へ取付けて下さい。
- 図 5-b を参考に、付属 f に同梱のグリスを **付属 e と付属 f との当たり面のみ** (下図矢印面) 塗布し図の様に付属 f を付属 e へ取付けて下さい。
- 図 6 を参考に、10. で出来た物の付属 g が上側に来る様に、キャリパーとローターの間へ差し込み、付属 g-a、g-b をセットし、IN SIDE より付属 g-c を差し込んで下さい。
最後に、付属 g-d を使用して先端を、付属 g-c に有る穴へ差し込み固定して下さい。
- 運転席側も同様に作業し、ブレーキのエア抜きを行って下さい。
- 装着されるホイールとのクリアランスをご確認の上装着し、走行テスト、ブレーキペダル等で制動力をご確認下さい。

CAUTION (必ずお読み下さい)

- ・本製品を装着する事により、純正ホイールは装着出来なくなります。
- ・本製品の取付は、分解整備作業に当たります。
作業は、自動車分解整備事業者でないときできません。
(道路運送車両法施行規則第3条を参照)

自動車の分解整備にはきわめて高度な技術が必要です。
自動車の分解整備作業には、自動車の新技術・新機構に対応した高度な知識や技術および相応の作業機器等の設備が必要であり、道路運送車両法施行規則において分解整備の種類や作業の範囲の他、自動車分解整備事業者が保有する作業機械等の設備基準などが規定されています。

